

令和8年度 シラバス

教 科	商業	科 目	総合実践	学 年	第3学年	学 科 類 型	商業科 情報ビジネス科
単位数	2 単位	教科書	新総合実践（実教出版）				
副教材							

学習目標	1・2年生で学んだ各科目の内容が、実際の商業活動でどのように関連しているかを体験的に学習します。模擬的な組織の中で、卸売店・倉庫・銀行などの担当者となり、手続きを処理していくなかで実践力を育成します。
------	--

キャリア教育の視点	商業を営むのに必要とされる基本的な知識・技術・態度を総合的に身に付け、それらを実際に活用できるようにしていきます。 実社会の有機的な関連を実践的に理解し、その中で自らが担当する職務について自覚を深めていきます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	1章 卸売商の業務	卸売業について、手続き・帳票・仕訳を示しながら、模擬業務を行います。 文書作成、取扱商品について帳票を作成します。 2つの市場に分かれ、商品売買とそれに伴う模擬取引を行います。	期末考査
	5月	1 開始業務		
	6月	2 文書及び商品		
	7月	3 商品の発注		
2 学 期	8月	4 商品の受け取り	管理業務・窓口業務を中心に、2つの市場で商品の受け取り業務全般を行います。 市場での代金決済の方法を学び、2つの市場間で行います。 決算に備え、取引の整理を行います。 決算の準備を行います。	期末考査
	9月	5 代金の支払い		
	10月	6 取引		
	11月	2章 決算		
	12月			
3 学 期	1月	決算処理	機関部及び各商店における取引の決算処理を実施し、決算報告をします。	
	2月			
	3月			

学習の方法	模擬的な組織を設けて、「模擬実践」の形態で授業を進めます。作業を通して、商業の種々の業務を理解するとともに、広く商品流通の仕組みについての理解を深めていきます。
-------	--

評価の観点	知識・技術は、定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、小テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。 思考・判断・表現は、習得した知識や技術を既存の知識や技術と関連付けたり、他の学習や生活の場面で活用したりできているか評価します。 主体的に学習に取り組む態度は、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながらよりよく学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。
-------	--

備考	
----	--